

競争力強化に資する認定支援機関確認書は、昨年と同様に必要です。

今年の変更点は、「ものづくり技術」だけでなく「革新的サービス」の事業計画の申請が可能となりました。このため、事業内容により申請類型が選択できます。

認定支援機関の皆様には、中小企業・小規模事業者の事業計画書の作成に際しまして、迅速に相談に応じてくださるようお願いします。事業計画書提出先 各県中小企業団体中央会(予定)

## (1) 中小企業・小規模事業者が、取り組む事業内容により申請類型を選択できます

ものづくり ( ) は補助金上限、補助率はいずれも 2/3

革新的サービス

- 成長分野型(1500万円) 試作開発+設備投資 設備投資のみ
  - 一般型(1000万円) 試作開発+設備投資 設備投資のみ
  - 小規模事業者型(700万円) 試作開発のみ
- 成長分野型のみいずれか1つ選択
- 健康・医療
  - 環境・エネルギー
  - 航空・宇宙

### 留意点

成長分野型と一般型は、設備投資が必須です。

小規模事業者型は、設備投資を伴わない事業を対象とします。

小規模事業者型は、常時使用する従業員の数が20人(商業又はサービス業は5人)以下の事業者のみ申請可

## (2) ものづくりに申請される方 ものづくり高度化法11技術を活用していることが申請要件となります

- 情報処理 精密加工 製造環境 接合・実装 立体造形 表面処理
- 機械制御 複合・新機能材料 材料製造プロセス バイオ 測定計測

### 留意点

高度化法の指針改正により11技術に再整理されました。別紙ご参照

## (3) 革新的サービスに申請される方 経営革新計画の内容の記載が申請要件となります

革新的な役務提供等を行い、3~5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成する計画であること。事業計画書の中に達成する計画の根拠を記載いただきます。

## (4) 事業計画書に人材育成・賃上げの実施状況についての取組を記載する欄が設けられます(ものづくり・革新的サービス共通)

給与支給総額の1%以上の教育訓練費の支出や給与支給総額が前年と比較して1%以上増加していたり増加させる計画がある等の賃上げ取組を行っている場合は、事業計画書において、具体的な取組内容を記載いただきます。

# 特定ものづくり基盤技術の11技術への再整理について

1. 組込みソフトウェア
2. 金型
3. 冷凍空調
4. 電子部品・デバイスの実装
5. プラスチック成形加工
6. 粉末冶金
7. 溶射・蒸着
8. 鍛造
9. 動力伝達
10. 部材の締結
11. 鋳造
12. 金属プレス加工
13. 位置決め
14. 切削加工
15. 繊維加工
16. 高機能化学合成
17. 热処理
18. 溶接
19. 塗装
20. めつき
21. 発酵
22. 真空

需要側の視点に立ち、  
求められる「用途」ごとに  
技術の体系を再整理

1. 情報処理技術  
IT(Information Technology)(情報技術)を活用することで製品や製造プロセスの機能や制御を実現する情報処理技術。製造プロセスにおける生産性、品質やコスト等の競争力向上にも資する。
2. 精密加工技術  
金属等の材料に対して機械加工・塑性加工等を施すことで精密な形状を生成する精密加工技術。製品や製品を構成する部品を直接加工するほか、部品を所定の形状に加工するための精密な工具や金型を製造する際にも利用される。
3. 製造環境技術  
製造・流通等の現場の環境(温度、湿度、圧力、清浄度等)を制御・調整するものづくり環境調整技術。
4. 接合・実装技術  
相変化、化学変化、塑性・弾性変形等により多様な素材・部品を接合・実装することで、力学特性、電気特性、光学特性、熱伝達特性、耐環境特性等の機能を顕現する技術。
5. 立体造形技術  
デザインの自由度が高い等、任意の立体形状を造形する立体造形技術。(ただし、(二)精密加工技術に含まれるもの除外。)
6. 表面処理技術  
バルク(単独組織の部素材)では持ち得ない高度な機能性を基材に付加するための機能性界面・被覆膜形成技術。
7. 機械制御技術  
力学的な動きを司る機構により動的特性を制御する動的機構技術。動力利用の効率化や位置決め精度・速度の向上、振動・騒音の抑制等を達成するために利用される。
8. 複合・新機能材料技術  
部素材の生成等に際し、新たな原材料の開発、特性の異なる複数の原材料の組合せ等により、強度、剛性、耐摩耗性、耐食性、軽量等の物理特性や耐熱性、電気特性、化学特性等の特性を向上する又は従来にない新しい機能を顕現する複合・新機能材料技術。
9. 材料製造プロセス技術  
目的物である化学素材、金属・セラミックス素材、繊維素材及びそれらの複合素材の収量効率化や品質劣化回避による素材の品質向上、環境負荷・エネルギー消費の低減等のために、反応条件の制御、不要物の分解・除去、断熱等による熱効率の向上等を達成する材料製造プロセス技術。
10. バイオ技術  
微生物を含む多様な生物の持つ機能を解明・高度化することにより、医薬品、エネルギー、食品、化学品等の製造、それらの評価・解析等の効率化及び高性能化を実現するバイオ技術。
11. 測定計測技術  
適切な測定計測や信頼性の高い検査・評価等を実現するため、ニーズに応じたデータを取得する測定測技術。